

体育館にGHP普及

徳島県協「提案書ソフト」学ぶ



中岸雅夫委員長

徳島県LPGガス協会（宮崎一成会長）は6日、徳島市の徳島健康科学総合センターで「LPGガスGHP一次提案書作成研修会」を開いた。教

材にGHPコンソーシアム発行の雑誌「GAS 21」と石油化学新聞社の「学校・体育館用GHP提案書作成ソフト」を使用。同社LPG局の土屋明GAS 21編集委員が講師を務め、提案書作成までの流れを説明した。県協会災害に強いLPGガス常設化推進委員会の中岸雅夫委員長は「全国

で災害が多発するなか、避難所となる体育館へのGHP導入が常設化の突破口と考える。昨年、石油化学新聞社の小浦直樹大阪支社長に取り次ぎを願う当委員会で箕面市を見学した。今回の研修会はタイムリーな内容。今後、行政に体育館へのGHP設置を強く働きかける」とあいさつ。成富治・石油化学新聞社社長は礼を述べ「県LPGガス業界を挙げ成果を出している」と述べた。

提案書作成ソフトは土屋氏がメーカーやガス会社でGHPの設置を進めてきた知見を生かして開発したものの。入力作業シートに数値を入力して提案書を作成し、GHPとEHPの費用見積もりができ、経済性の比較を明示できる。双方の工事費用も長年の経験により得た現実的な数字で設定している。聴講者は説明を受けながら個々のパソコンで提案書を作成。GHP提案に理解を深めた。